

「山小学校の千人踊り伝承活動の取組」

1 学校名

徳之島町立山小学校

2 学年・人数

1年生から4年生（計5人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年9月～10月 総合的な学習の時間（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和3年9月12日（日）校内大運動会（山中中学校校庭）

令和3年10月29日（金）校内学習発表会（本校体育館）

※ 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について

(1) 名称

千人踊り（せんになおどり）

(2) 由来

古くは一家の安全と繁栄，五穀豊穰を祈願し，集落の守護神が祀られているナゴリ山神社で盛んに踊られていた。昨今は，浜下りや豊年祭等の集落行事の終わりに踊られるようになり，伝承を目的に学校行事（運動会や学習発表会等）でも老若男女入れ混じり，踊り継がれている。

(3) 構成等

民謡保存会の生唄・生演奏に合わせ踊る。隊形は唄者・演奏者を中心に輪となる。主に「なあとみしゅう」や「テーふいふい」，「ミンチャサやー」等の踊りを繰り返し踊る。踊りは単調なので見よう見まねで大変覚えやすい。

5 保存会や地域との連携の具体

毎年郷土教育の一環として，千人踊りの練習・発表の場を教育活動に位置付けている。指導については毎年日時等も含め，管理職が打合せを行い集落の民謡保存会の方々に協力依頼し，全面的にバックアップしていただいている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

千人踊りを長く継承していくために，民謡保存会の方々の直接指導の他に発表ビデオ（運動会・学習発表会）を視聴しながら，教児ともに練習する場も設けている。毎年，運動会と学習発表会のプログラムに位置付けることで，今後も継続的に地域と連携して千人踊りを伝承していける体制を整えた。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



令和元年度山小学校・山中学校合同運動会での千人踊りの様子



令和元年度山小学校学習発表会での千人踊りの様子

8 参加児童・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【4年生児童】

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかったけれど、過去2年間地域の方々と共に踊ることができ、楽しかった。

【教職員】

総合的な学習の時間や創意の時間を利用し、練習してきた。保存会の方々の指導にも熱心に取り組む姿が見られ、郷土芸能を通して、児童の心の中に地域への誇りや愛着が育まれつつある。

【保存会から】

年々集落の人口も減少し、千人踊りの継承が危惧されるが、学校行事の中で千人踊りを披露する機会が継続して設けられ、若き伝承者が育っていることが喜ばしい。

【地域の方から】

子どもから高齢者まで一つの大きな輪になり、地域の繁栄を願いながら踊ることで地域住民の和も高まり、元気も出る。また、若い子どもたちが、今後もこの郷土芸能を大切にし、後生に伝えていってくれたらと思う。